

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
アロマセラピー aromatherapy		2年	前期	木曜日 3・4時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	講義		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
栃木美保	なし	特になし	授業中に指示します	
授業の概要				
アロマセラピーは植物の精油を用いて、身体や精神の恒常性の維持、美と健康を増進する目的がある。自然の香りを楽しみながら植物の特質を理解する事で環境への意識を深める。				
授業の到達目標				
アロマセラピー利用の実習体験や、植物の精油、アロマセラピーの歴史、環境について学習し、安全な精油の使い方、様々な利用法を身につける事ができるようにする。希望者はアロマセラピー検定を受けることができるようにする。				
授業の方法				
精油、歴史、環境等の講義 精油の使い方、利用法の実習				
学習の成果				
①香りを通して心身のバランス、美と健康への知識、精油の具体的な利用法を学ぶことができる。②植物の特質を学び、環境に対する知識を深めることができる。③アロマセラピー検定試験を受けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業内容の説明 香りに親しむ 香りのイメージ			
第2回目	香りの楽しみ方 精油扱いの注意 基材について			
第3回目	精油の基本的事柄 アロマセラピー検定2級対応精油を主に精油プロフィール①			
第4回目	精油製造法 精油プロフィール②			
第5回目	精油の作用について ルームスプレー作り			
第6回目	トリートメントについて トリートメントオイル作り			

第7回目	トリートメントについて トリートメント実習	
第8回目	アロマセラピーの歴史 1	
第9回目	アロマセラピーの歴史 2	
第10回目	アロマセラピーと環境 パスソルト作り	
第11回目	アロマセラピーと環境	
第12回目	ハーブとハーブティーについて	
第13回目	アロマセラピーに関する法律 資格について	
第14回目	学期末試験（アロマセラピー2級検定対応問題を中心に）	
第15回目	授業を振り返り、各自の利用法や意識の変化を考える 香水の作り方	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	授業に集中し、講義、実習ともに意欲的に取り組む
レポート	20%	講義内容を把握し、様々な分野での活用を考え記述できる
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	40%	講義、実習内容の要点を理解している
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
アロマセラピー検定テキスト2級		
履修上の心得・ルール		
目的意識を持ち、積極的に授業に臨むこと。		